

# 全労連社会保障闘争本部ニュース

NO.148

全労連社会保障闘争本部発行

2021年2月25日

## いのち署名紹介議員が 111 人 (衆 70、参 41)になりました。

立民（比）四国・香川、小川淳也議員、厚労委員が新たに紹介議員になっていただきました。

## 名古屋市伊東副市長に署名 3534 筆提出 名古屋市立病院の大学附属病院化延期を !!



(424 愛知共同行動通信から)「名古屋の公的医療を守る市民の会」は、2月3日、名古屋市長あて要請署名と「緊急要請書」を伊東副市長に提出し要請しました。

3週間余りで集めた署名は総数3,535筆(個人3,376筆+団体158団体)に達し、①2021年4月の実施は延期をすること。②移行にあたっては市立病院としての機能を存続すること。③パブリックコメントなど市民の意見を聞く場を設けることの「緊急要請書」を提出しました。

要請団からは「病院は、4月は普通でも新規採用者も多数で混乱する。コロナ禍の中で、これ以上の混乱は避けていただきたい」「大学病院化で医師確保が出来ると言われるが、しんっくな医師不足の中で、医師確保すれば、他の医療機関へしわ寄せが行くのでは？2病院だけ医師確保できればよいでは本末転倒ではないか？」「市民病院は5病院あって、再編等で診療科が維持できなかった事例がある。そうした事態は招くことのないように。市民病院の行っている医療内容を変えては困るし、どんな病

院になるのか？何も市民に伝わっていない。ぜひ、市民の意見を聞くパブリックコメントを実施してほしい。」「職員の雇用はどうか？今は、コロナ対応に専念すべき」という意見を述べました。

要請書と署名を受け取った伊東副市長は「皆さんの話はよくわかる。大学法人化となっても変わらない。2年前より検討を進めてきたという経過があり、議会の中で突然出されたものではない。現在、東部医療センターは、市内の感染症指定病院として大奮闘している。職員への『意向調査』は慎重に行っており、現状で4月にほぼ必要な人員確保のめどは立っている。現場で混乱は本意ではない。市議会は市民の代表者であり、12月議会でこの件は議決されている。今後は、スムーズに移行することが必要であり、混乱なきよう慎重に行っていく。医師確保も、大学医学部としては全国に医師を供給していく義務があり、決して混乱させるようなことはない。3病院が同一法人としてコロナ対応にもあたっていく事が大切と考えている。一方的に行っているわけではないが、説明不足による不安等を招いているとしたら、その事は真摯に受け止めたい。今後は、自治体主体から独法化となるが、守るべきところは守っていく。設置者としての責任は変わらず、運営の形態が変わるだけであり、根本的には何も変わりません。」と述べました。

要請には、伊東副市長、大原病院局長、牧田主管（病院改革等担当）の3人が応対しました。守る会からは、小松（社保協）、西尾（愛労連）、矢野（医労連）、津田（自治労連）、長尾（全医労）、岡田市議（日本共産党）の6名が参加しました。

## **\*3月4日、3・4いのち署名国会請願意思統一集会と 国会議員要請行動の参加報告をお願いします。**

主催：全労連、中央社保協、医団連、医療三単産（医労連・自治労連・全大教）

日時：2021年3月4日（木）11：00～17：00

場所：星稜会館 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2

TEL : 03 (3581) 5650

FAX : 03 (3581) 1960

参加要請：単産代表者・東京組織

※医療関係単産だけでなくすべての単産から代表者の参加をお願いします。

※地方組織は、ズームで各県から代表者の参加をお願いします。

※ズーム併用

※申込方法：2月28日（日）までに [kuri@zenroren.gr.jp](mailto:kuri@zenroren.gr.jp) まで。

以下を記入し、メールを送ってください。件名は「3.4いのち署名 国会請願行動」

組織名                      氏名                      メールアドレス

ZOOM参加者には3日1日月曜日にZOOMの参加案内を送ります。